

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

透析導入前後における貧血管理に関する研究

2. 研究の対象患者

2023年1月から2025年6月まで透析導入した234名の内、保存期にダプロデュスタットにて内服管理されており、導入後6ヶ月まで経過を追えた28名

・ 選択基準

以下の基準を全て満たす患者さんを対象とする

- 1) 当院加療中の維持透析患者さん
- 2) 年齢が20歳以上75歳未満の患者さん
- 3) 性別不問

・ 除外基準

以下のいずれかに抵触する患者さんは本研究に組み入れないこととする

- 1) 当院で血液透析を導入し保存期にダプロデュスタットで内服管理されていなかった患者さん
- 2) その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2023年1月1日～2025年6月30日

4. 研究の概要

慢性腎臓病における貧血管理は、非常に重要で保存期から透析導入期についての貧血治療はシームレスに実施されるのが望ましい。当院では、透析導入後は、静注の赤血球生成刺激因子(ESA)を投与しているが、2020年以降、内服の低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素(HIF-PH)阻害薬が上市され、保存期腎不全の貧血管理に使用され始めた。治療手段の変更に伴い、適正に管理されるべきであることにより、保存期から、透析導入後まで、貧血治療に関して検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年3月18日～2026年6月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕:年齢、性別、原疾患、体重、透析歴、薬剤投与量、薬剤抵抗性

〔血液学的検査〕:RBC、Hb、WBC、MCV、MCH、MCHC、RDW

〔血液生化学的検査〕:Fe、UIBC、フェリチン

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 透析センター 平山和也

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)